

# 埋文やまがた



2015年9月30日  
第55号



## 平成27年度 市町村文化財担当者研修会

上1点【於：村山市羽黒神社西遺跡】  
下2点【於：山形県埋蔵文化財センター】

※P5に関連記事

公益財団法人 山形県埋蔵文化財センター  
YAMAGATA PREFECTURAL CENTER FOR ARCHAEOLOGICAL RESEARCH  
〒999-3246 山形県上山市中山字壁屋敷 5608 番地 TEL 023-672-5301(代) FAX 023-672-5586  
ホームページ：<http://www.yamagatamaibun.or.jp>  
メールアドレス：[yac@yamagatamaibun.or.jp](mailto:yac@yamagatamaibun.or.jp)

# 平成27年度 山形県内の発掘調査

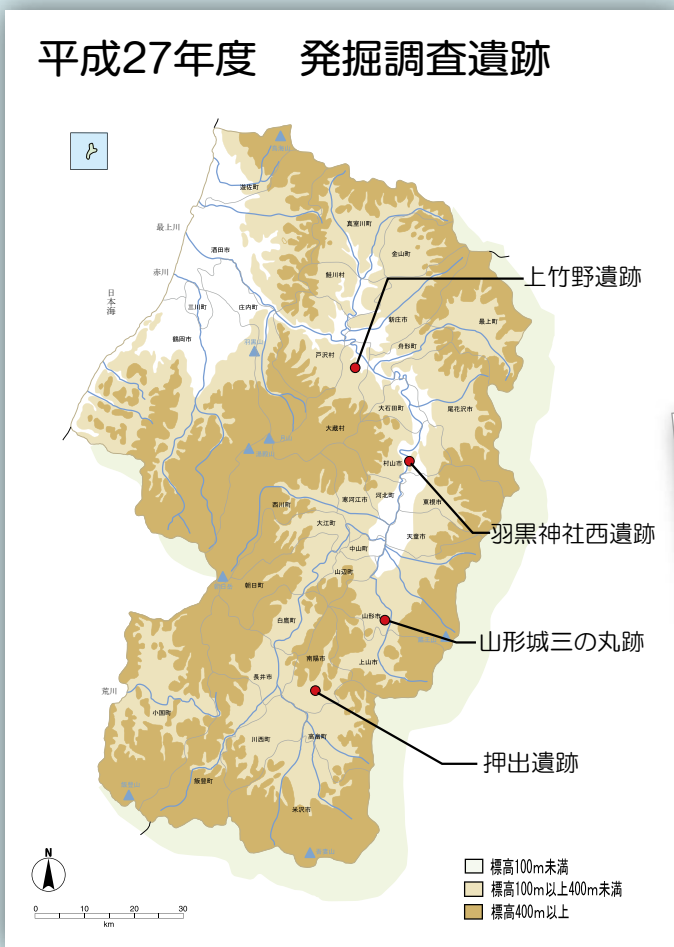
今年度は、国土交通省・山形県・東日本高速道路(株)から委託を受け、4遺跡延べ5件の発掘調査を実施します。また、発掘調査の終了した遺跡の整理作業を行い、1遺跡の報告書を刊行します。

## 発掘調査事業

(8月15日現在)

No	遺跡名	市町村	時代区分	種別	調査期間
1	うわたけの上竹野遺跡	大蔵村	縄文・弥生	集落跡	6月1日～10月26日
2	はぐるじんじやしにし羽黒神社西遺跡2次	村山市	縄文	集落跡	5月25日～11月6日
3	山形城三の丸跡16次	山形市	奈良・平安・中世・近世	集落跡・城館跡	6月5日～12月4日
4	山形城三の丸跡17次	山形市	奈良・平安・中世・近世	集落跡・城館跡	5月25日～10月29日
5	おんだし押出遺跡6次	高島町	縄文	集落跡	12月1日～1月29日

## 平成27年度 発掘調査遺跡



## 整理作業

No	遺跡名	市町村	時代区分	種別	業務内容
1	しず清水遺跡8次	村山市	奈良・平安	集落跡	報告書作成・刊行
2	清水遺跡1・3・7次	村山市	奈良・平安	集落跡	報告書作成
3	せみた蝉田遺跡1・2次	村山市	奈良・平安	集落跡	報告書作成
4	はったん八反遺跡1～3次	東根市	縄文・古墳～中世	集落跡・墓地跡	報告書作成
5	はせがみ馳上遺跡2～4・6次	米沢市	古墳～中世	集落跡	報告書作成
6	やわた八幡一遺跡	川西町	奈良・平安	集落跡	報告書作成

# 大型土偶レプリカをさがせ!

やまがたデステイネーションキャンペーンのコンパニオンを務めるべく、2年前に華々しくデビューを飾った「縄文の女神」大型レプリカ五姉妹を覚えていらっしゃるでしょうか?平成24年度のかかし祭りに出品、入賞したオリジナルの1体を含めて、合計6体が存在するのですが、埋蔵文化財センターを旅立った後、彼女たちは今どうしているのでしょうか?私、気になります!

ということで、お工作中的の皆さんを訪ねてきました。



## ←山形市【山形県立博物館】

ご本家の露払い担当。正面玄関にて、来館者をお出迎え。もちろん館内には本物の国宝土偶が待っています。

実はこの子が、オリジナルなのです。言うなれば試作0号機。よく見ると台座が他と違うのがお分かりでしょうか。彼女は他の5体のお姉さん格、と言えるでしょう。



## ↑山形市【霞城セントラル1F やまがた観光情報センター】

観光PR担当。県内の他の特産品さんたちと並んで、山形県の観光PR活動を展開中。



## ↑酒田市【JR酒田駅】

庄内地区担当。初めは庄内空港にいましたが、現在は、酒田駅で他の皆さん方と、庄内PRのお勤め中です。



## ←東根市【山形空港】

空の玄関担当。空からのお客様をお出迎え・お見送りする役割をもらいました。文字通り、脚光(フットライト)をあびてるぞ!



## ←山形市【遊学館(山形県立図書館)】

勉強担当。遊学館1Fホールで、来館者を出迎えてくれます。さしずめこの子は、学問の女神と言ったところでしょうか。



## 上山市【山形県埋蔵文化財センター】→

実家担当。こちらが量産型初号機。いつも埋蔵文化財センターの玄関先で、お客様や職員の送り迎えをしています。

季節に合わせていろいろな格好をしたりするのがこの子の特徴です。皆さんも、ぜひ会いに来て下さい。



## 番外編

埋蔵文化財センターが関与した6体以外にも、大型土偶レプリカがあります。少しだけご紹介しましょう。皆さんの近くにも、もっとあるかも!



←舟形町の西掘公民館前のモニュメント。高さ約148cmは、縄文人の推定平均身長だそうで、実物の約3倍強の大きさです。



←JR山形駅 駅西広場で横たわる、正式名称「八頭身美人どぐろベンチ」。誰が呼んだか、通称「涅槃(ねはん)ピーナス」北村山高校1年の女子高校生(当時)によるデザインです。

舟形町中央公民館ロビーでは、町民の皆さん手作りの舟形町オリジナル大型模型が、皆さんをお待ちしています。 →



# ふるさと考古学講座(1) 平成27年8月2日(日)



① 最上町水木田遺跡から発見された、小さな「凹石」とは、どうやって作られ、どのように使われていたものなのでしょうか？

今年のふるさと考古学講座(1)は、『凹石の秘密をさぐろう!』と題し、縄文の遺跡からよく見つかる「凹石」に焦点を当ててみました。

よく見つかるとは言っても、中には何に使われたのかはっきりしないものもあります。そんな謎の「凹石」の正体を探るべく、観察と実験・体験を通して迫っていくという企画です。

夏休み中ということもあり、お子さんの参加が多かったのですが、暑い中、がんばって凹石作りにチャレンジ。宿題の自由研究として、上手にまとめてくれることを期待しています。

## くぼみいし 『凹石の秘密をさぐろう!』



② 県内各地の遺跡から発見された「凹石」。どれも本物です。クルミ割りや石器作りで使用した痕跡はなく、どうも、他の用途で使われていたようです。



③ 「凹石」に残された痕跡から、小さな石器で削り込まれたのでは?と推理。実際に石器で削ってみました。でも、やってみると、これがなかなか大変。



④ できあがった「凹石」の削り跡を、ルーペで観察すると、遺物にあったものと、よく似た痕跡が確認できました。



⑤ ヒモキリでの孔開け

「凹石」には、凹みの中心に柔らかい球状のものが回転してできたと思われる痕跡も観察されました。遺跡から出土した石キリや石製品の痕跡とを考え合わせると、「凹石」を使ったユミキリ、あるいはヒモキリのわざが考えられます。



⑥ ユミキリでの孔開け

石キリを柄の先に取りつけ、丸く加工した柄の上部を、「凹石」の凹みの部分で押さええます。柄に巻き付けたひもや弓の弦を前後、または左右に動かすことで、キリを速く回転させることができます。つまり、楽に、かつ早く石に孔を開けることができるというわけです。



⑦ 改めて遺物を観察すると、体験で使ったものとよく似た痕跡を持つものがありました。つまり「凹石」は、ユミキリやヒモキリの固定具として使われたものもあった可能性が、考えられるのです。

これまでの「ふるさと考古学講座」とは少し趣を変えた企画で、タイトルだけでは何をするのかよく分からなかったためか、参加人数はちょっと少なめでした。ですが実際にやってみると、知的好奇心を刺激するような内容で、参加者の皆さんには、結構楽しんでいただけたようです。来年度の企画もお楽しみに。

# ようこそ 埋文センターへ

## 平成27年度 市町村文化財担当者研修会

5月15日(金)於：山形県埋蔵文化財センター  
6月12日(金)於：羽黒神社西遺跡(発掘現場)



県教委との共催で、県内市町村の文化財担当者の皆さんに、発掘に関する手続きから、発掘の仕方、記録の取り方等を、2日にわたって研修していただきました。

埋蔵文化財センターでは、常設の展示品の他、センター内で行っている業務や発掘現場を公開しています。今年も社会教育活動や授業の一環として、あるいはセンターを会場とした研修会等の利用がありました。



## 見学等のみなさん



4/30 上山市立南小学校5年生 センター見学



5/19~21 山形市立蔵王第一中学校 職場体験



6/12 東北大学考古学研究室 センター見学



7/7~9 上山市立南中学校 職場体験



6/30 山形県立霞城学園高校 発掘現場見学

見学・研修等でのご利用のお申し込みは、随時受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

# 企画展示のご紹介

山形県埋蔵文化財センターでは年に数回、外部展示企画として、各地で会場をお借りして展示会を催しています。以下に現在実施中のもの、これから実施予

定のものをご紹介します。できるだけ開催地の地元資料を展示するようにしておりますので、お近くで開催の節は是非ご覧下さい。



今年の展示より

## 山形県埋蔵文化財センター 『子どもミュージアムめぐり』

テーマ：<sup>ドキ</sup>土器とタイムトラベラー！

～まいぶんセンターってどんなところ？～

7月21日(火)～8月21日(金) (終了しました)

・埋蔵文化財センターが調査してきた多くの遺跡の中から、旧石器時代～近現代までの代表的な資料をピックアップ。イベントとしては既に終了してしまいましたが、展示は引き続き行っています。観覧ご希望の方は、事前に電話等でご確認の上おいで下さい。

## 新庄市 ゆめりあストリートギャラリー

テーマ：『最上のあけぼの』

釜淵C遺跡～真室川が育んだ縄文集落～

9月4日(金)～10月2日(金)

主な展示遺跡：釜淵C遺跡

・真室川町には50を越える縄文遺跡があり、当時の真室川流域がいかに住みやすい土地だったかを彷彿とさせます。今回はそのひとつである、釜淵C遺跡をご紹介します。



昨年の展示より



昨年の展示より

於：櫛引公民館

## 鶴岡市 朝日中央コミュニティセンター 『すまいる』

テーマ：『足元には文化財展』

10月23日(金)～11月15日(日)

主な展示遺跡：野新田遺跡(鶴岡市)、縄文の女神(レプリカ)

・11月15日(日)に体験講座を計画しています。詳しくは時期が近づきましたら、「広報つるおか」・センターホームページ等でお知らせする予定です。

## 山形市 遊学館1階ギャラリー

テーマ：『やまがたの縄文遺跡(仮)』

2月19日(金)～3月4日(金)

主な展示遺跡：西海湖遺跡、押出遺跡、ほか(予定)

・2月28日(日)に遊学館で開催する『平成27年度発掘調査速報会』に合わせ、県内の代表的な縄文遺跡を紹介します。



昨年の展示より

# これからの催し物



## 埋文センター参観デー 『埋文まつり2015』

10月18日(日)

10:00~16:00 参加費無料

山形県埋蔵文化財センターを1日開放、どなたでも参加できます。特別展示や琥珀の勾玉作り、整理作業体験や毎年行列のできる人気企画、れきし仮装写真館など、楽しい企画が目白押しです。秋の一日、ご家族で『大人の文化祭』を楽しんでみませんか？

## 平成27年度 『発掘調査速報会』

2月28日(日)

会場:「遊学館」山形県生涯学習センター  
参加費無料。

今年度の発掘成果をいち早くお届け。発掘したての土器等も展示・解説します。県内考古学ファン必聴の内容です。1Fギャラリーでは、企画展も同時開催します(前頁参照)。詳しくは開催時期が近づきましたら、ホームページ等でお知らせします。



## 考古学クイズ ～山形の遺跡編～

これまで、山形県埋蔵文化財センターでは、県内にある遺跡について、数多くの調査を行ってきました。このコーナーで、少しでも県内の遺跡や文化財、考古学に興味を持っていただければ幸いです。

Q. 昨年の秘宝館でご紹介したけつ状耳飾りをはじめ、数多くの新しい発見のあった<sup>おんだし</sup>押出遺跡ですが、どの市町にある遺跡でしょうか？

A. ① 高畠町 ② 南陽市 ③ 川西町

ヒントは今号と前々号(第53号)にあります。答えは次号(第56号)の「埋文やまがた」で！  
(バックナンバーはセンターのホームページからも見ることができます。)

遺跡(埋蔵文化財)とは「過去の人間活動の痕跡」で、一般的には地下に埋蔵されているもののことです。集落跡や古墳、貝塚、城館跡など様々な種類があります。

押出遺跡は、縄文時代前期の集落跡と考えられます。当時はもっとずっと大きかった白竜湖畔の湿地に営まれた集落だったらしく、住居も当時の主流だった竪穴式のものではなかった可能性があります。集落が放棄された後の遺物や遺構は、数千年の間、白竜湖畔の泥炭層に包まれて保存されてきたのです。

# 秘宝館

さんげん や もの み だい

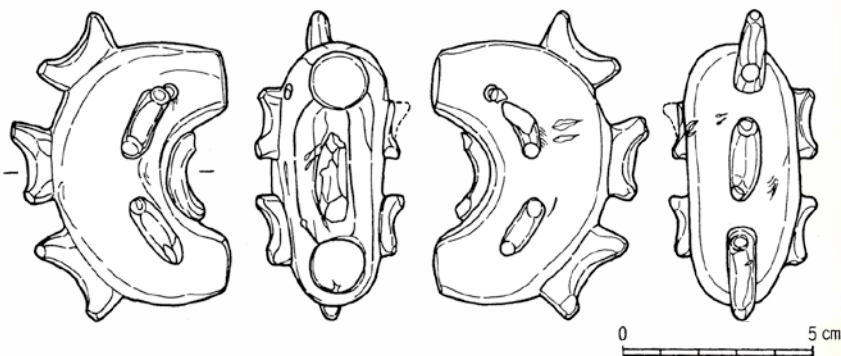
三軒屋物見台遺跡出土

こもちまがたま

子持勾玉



落合橋のレリーフ



県道227号の落合橋を、天童側から須川<sup>すかわ</sup>を越えて渡り終える少し前、左右の欄干に、変わったレリーフを見つけました。ポケモンのキャラクターにでもありそうな面白い形ですが、何だかわかりますか?……そう、実は<sup>まがたま</sup>勾玉なのです。

勾玉は、縄文時代の遺跡からも出土し、呪術的<sup>じゅじゆつ</sup>な要素を持った装飾品として使われていたようです。古墳時代になると、頭部の穴<sup>くのだたま</sup>に管玉など各種の玉と共に紐を通して、首からさげている様子を、埴輪<sup>はにわ</sup>などの造形に見ることができます。

写真の勾玉は、1984年、山形自動車道関連の工事に

伴う、『三軒屋物見台遺跡』の発掘の際に出土しました。遺跡は落合橋にほど近い、中山町長崎字三軒屋に位置し、最上川と須川の合流点付近の、物見台と呼ばれる小高い場所にある、古墳時代の集落跡です。この種の勾玉は、その形状から「子持勾玉」と呼ばれ、玉本体から小さな勾玉がいくつも飛び出た様な形が特徴的です。素材は緑泥片岩と思われ、ずっしりとした重量感があります。

現代でも、パワーストーン的な扱いをされる事の多い勾玉ですが、はてさて、この勾玉にはどんな力があり、どんな願いが込められていたのでしょうか。

## 「埋文やまがた」の購読について

広報誌「埋文やまがた」購読ご希望の方は、当センターまで電話にてお問い合わせ下さい。なお、郵送料はご負担いただけます。

電話023(672)5301(代表)

## 編集後記

これを書いているのは真夏です。内勤の筆者でさえ、今年の連日の猛暑日には、さすがにちょっとグロッキー気味?日差しを遮るものが基本的でない発掘現場の苦労は、いかばかりかと思えます。読者の皆さんは、いかがお過ごしでしたでしょうか?